

### 平成19年度 専門職大学院等教育推進プログラム(文部科学省)に選定

南山大学人文学部・人間文化研究科で申請していた標記プログラムに、「教え学び支え合う教育現場間の連携づくり・ラボラトリー方式の体験学習を核とした2つの連携プロジェクト」が選定されました。

このプロジェクトは、全国の教師の教育力向上をテーマに教育機関づくりや学校間の連携づくりをめざしたものです。

テーマ「大学等における教員養成教育の充実」では、60件の申請があり、国立大学14件、私立大学1件(本学の取組のみ)および共同プロジェクト3件を含め18件が選定されました。

「専門職大学院等教育推進プログラム」は、高等教育機関における高度専門職業人養成等の一層の充実を図ることを目的としています。

### ピオトープ

瀬戸キャンパスのアメニティ充実のため、ピオトープを含むウォーターガーデン(流水施設)を9月中旬に建設しました。憩い集える場所として多くの学生に利用されることを期待しています。



### Special events

#### 総合政策学部秋学期入学者卒業式

総合政策学部秋学期入学者12名の2007年度卒業式が、8月4日瀬戸キャンパス会議室1において挙行され、アジア4カ国(中国・タイ・韓国・台湾)からの卒業生と家族が参加した。レセプションでは後援会理事長阿部博氏からもご挨拶をいただき、外国人留学生を社会へと送り出した。



#### 2007年秋学期外国人留学生別科入学式

2007年秋学期外国人留学生別科入学式を9月5日、名古屋キャンパスB11教室にて行い、世界25の国と地域から142名の入学生(うち継続10名)を迎え入れた。9月6日、日本人学生によるキャンパス・ツアーやウェルカム・パーティーを開催し、学生間の交流を深めた。



#### 南山大学 歴代学長紹介 ②

本年度、南山学園の創立75周年を迎えるにあたり、これまでの大学の歩みを歴代の学長とともに振り返ります。

#### 2代目学長 沼澤 喜市 神父

1957年から15年間にわたる沼澤学長の時代は、学園紛争や財政問題などの多くの試練に直面しながらも、大学の学術・教育内容の面で著しい拡充が行われた時期でもありました。南山大学最初の大学院、社会科学研究所文化人類学専攻修士課程が58年に創設されたのを皮切りに、63年までに1学部5学科が新設・増設され、開学当初の1学部4学科から、20年後の69年には4学部11学科2研究科4専攻を擁する大学に発展を遂げました。

64年には本格的な総合大学化を見越して山里町の新校舎に移転、A-レーモンドによって設計されたキャンパスは、自然を活かし美観を重視する先進的なもので、現在も建物との調和が美しい環境を形成しています。また、上南戦、南山大学祭(60)、野外宗教劇「受難」の初上演(63)、英南戦(67)と、今も続く大学行事が相次いで始まりました。広報誌南山プレティンが創刊されたのも67年で、今年40年目を迎えます。カトリック大学の特色を打ち出したカリキュラム改革や、「語学の南山」としての外国語教育の再検討を行ったのもこの時期で、南山大学の基礎はここにひとつの完成を見たといえるでしょう。



沼澤 喜市 神父  
1907年6月1日生まれ  
在任期間:1957年 - 1972年  
所属:文学部人類学科

### 労働問題研究と構想力

藤原 道夫

企業社会の歴史をふりかえってみると、制度を変えなくてはならないときになかなか変えることができなかったり、あるいは前後の明白な脈絡がなく制度が変わったりすることがある。私の研究の具体的な関心は、ホワイトカラー労働者に關する人事労務管理諸制度のあり方と、企業内労働組合の機能である。この二つの領域にもそのようなことが多い。

日本の人事労務管理諸制度は、近年、いくつかの変更が加えられているものの基本的には、男性生産労働者の働き方をモデルに作り上げられてきた。この人事労務管理諸制度の変化の方向を見ることが研究テーマの一つである。人事労務管理のいくつかの側面では変わったものの、日本の企業があくまでも残そうとしているものは何なのか、



専攻分野は「組織論」、「労働論」、長期研究テーマは「企業史」であり、人事労務管理の歴史、主な著書は「中部経済立派10周年記念研究トヨグループの発展論 - その歴史と考え方 -」、「(財)中部産業・労働政策研究会、1998年」など、担当科目は「モダン社会の発展 - 労働論の発展」、「産業文明論」、「総合政策論(人的資源論)」、「経営学概論」など。

### 私の研究



制度はどこまで変化しうものかということについて関心をもって研究を続けている。過去に行われた議論を見ていくうちに、従業員への「能力発達」に対する見方が大きな役割をはたしていることに気がついた。この「能力発達観」が従業員の格付けに關する制度設計と平行していることが明らかになってきている。

労働組合については、労使協力の思想の展開について研究している。労使協力を選択するには、さまざまな条件があったはずであるし、また、労使協力を継続させるのにも努力が必要はずである。組織形態が労使協力を一義的に規定しているわけではない。

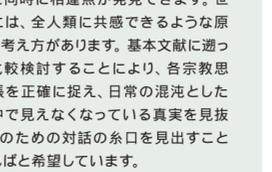
このような関心に基づいて、関連する個別テーマについて研究をしている。現状を単に描写するのではなく、意味を持つような視覚から記述、分析するには、社会科学的な「構想力」を持たなくてはならない。そして、この構想力は、微細ではあるが重要な質的变化と歴史の段階的發展を見つ出す能力と密接に関連しているようである。

### 私のクラス



ような論戦が交わされたために、両宗教に疎い日本社会ではキリスト教とイスラムが宗教戦争を始めたかのような勘違いが生じました。今日、例えばイラクからの報道はイスラム間にて政治とグローバル経済のしがらみによって混迷する人間の現状を、純粋に宗教の立場から解きほぐしつつ問題点を確認し、対話の展望を開くように試みています。比較の対象としてイスラムとキリスト教を取り上げています。2001年9月に米国ニューヨーク市で起こった同時多発テロ事件の際に、当該の政治家と過激派指導者の間で、開口一番、十字架また聖戦などのスローガンにより、それぞれの関係者を扇動する

両宗教の思想的核心は、預言者と神との理解にあります。私たちに知られた名称で換言すれば、イエスとムハンマド、アッバとアッラーをどう捉えるかということです。キリスト教の聖書、特に福音書とイスラムのクルアーンを比較すると、両宗教の興味深い共通点と同時に相違点が発見できます。世界宗教には、全人類に共感できるような原点となる考え方があります。基本文献に遡って自ら比較検討することにより、各宗教思想の主張を正確に捉え、日常の混沌とした報道の中で見えなくなっている真実を見抜き、平和のための対話の糸口を見出すことができると希望しています。



専攻分野は「組織論」、「宗教論」、長期研究テーマは「神と神学」について、キリスト教の歴史、主な著書は「三位一体の神と我々 - 現代人のための一論考」(新世社、2005年)など、担当科目は「キリスト教概論」、「基礎神学」、「組織論」、「宗教思想」など。

### Information

#### 後援会定例評議員会・総会 開催

南山大学在学生の父母により構成される「南山大学後援会」の定例評議員会・総会が6月23日、理事・評議員82名の出席のもと、新教室棟、食堂棟(B・C棟)の披露を兼ねて名古屋キャンパスB棟で開催された。

後援会は、大学との共催による父母の集い、後援会会員への印刷物作成・送付、教育・研究活動支援を通じて、本学の教育目的達成に支援を続けている。

- 主な決定事項は次のとおりである。  
1. 2006年度事業報告および決算報告の承認  
2. 役員を選任  
3. 2007年度事業計画および予算の承認



後援会Webページ  
<http://www.nanzan-u.ac.jp/Menu/kouenkai/index.html>

#### 友の会評議員会・総会 開催

南山大学を支援する地域社会の一般および法人会員により組織される「南山大学友の会」の評議員会・総会が7月18日、会員56名の出席のもと、栄の名古屋ガーデンパレスで開催された。友の会は、外国人留学生・派遣留学生・学部生への奨学金給付などを通じ、本学の教育活動に対する支援を続けている。

- 主な決定事項は次のとおりである。  
1. 2006年度事業報告および決算報告の承認  
2. 役員を改選  
3. 2007年度事業計画および予算の承認

また、本年度をもって監事を退任される中村市次氏にマルクス学長から感謝状と記念楯が贈呈された。評議員会・総会終了後、加藤会長より外国人留学生・派遣留学奨学生に奨学金採用通知書が授与され、それぞれの代表者が感謝の言葉を述べた。

#### 寄付者ご芳名

「南山大学教育・研究支援」へのご協力に感謝いたします。

- 南山大学洋弓部 様  
南山大学同窓会 様  
(株)名古屋銀行 様  
三機工業(株)名古屋支店 様  
大同生命保険(株) 様  
杉山 雄彦 様



発行 学長室  
〒466-8673 名古屋市中区山里町18  
Phone: 052-832-3113(直通)  
E-mail: gaku-koho@nanzan.ac.jp  
<http://www.nanzan-u.ac.jp>

#### 後援会収支計算書および予算書

科目	2006年度決算	2007年度予算
収入部		
前払金	10,563,412	3,017,574
入会金	2,288,000	2,210,000
会費	175,610,000	177,220,000
預金利息	85,531	90,000
基金運用利息	1,051,268	1,152,000
合計	189,598,211	183,688,274
支出部		
教育・研究活動等支援奨助金	174,000,000	168,000,000
後援会活動費	7,529,369	8,828,000
父母の集い	(1,483,975)	(1,668,000)
就職活動奨助費	(1,001,650)	(1,200,000)
広報費	(4,367,161)	(5,100,000)
事務費	(676,583)	(860,000)
課外活動奨助基金積立	4,000,000	4,000,000
課外活動奨助基金積立利息	665,576	758,000
事故対策基金積立利息	385,692	393,000
予備費	0	400,000
次期繰越金	3,017,574	1,309,274
合計	189,598,211	183,688,274

#### 後援会貸借対照表

備方	貸方
預金	118,233,786
計	118,233,786



南山大学の教育・研究活動にご協力いただける一般および法人の方々を募集しております。本学のより良い発展のために、皆様のご加入をお待ちしております。友の会Webページ  
<http://www.nanzan-u.ac.jp/tomonokai/index.html>

#### 行事

- 体験入学会 10月8日  
場所:名古屋キャンパス・瀬戸キャンパス  
聖南祭 10月27日 - 28日  
場所:瀬戸キャンパス  
大学祭 11月1日 - 4日  
場所:名古屋キャンパス  
南山学園創立75周年記念フェスティバル  
宗教劇「受難」11月18日  
場所:愛知県芸術劇場大ホール  
詳細は本学Webページの「イベントカレンダー」をご覧ください。

#### 南山大学広報誌

# NANZAN bulletin vol.162 2007.9.30



表紙:World Plaza



### Campus Topics

#### 第17回オープンキャンパス開催 入試広報委員会委員長 沢登 文治

2007年度の第17回オープンキャンパス(OC)は、当初予定されていた7月15日から、8月25日と26日に延期し2日間実施することとなった。台風4号が接近し、前日の7月14日にはすでに暴風警報が発令されることが明らかであったため、66名が事前予約していたバスツアーと同様、急遽中止の措置がとられたからである。

OCがどのように延期されること自体前例がない上、これまで相談会場として体育センターのメインアリーナを利用し1日で開催していたものを、今回のように新教室棟C棟の食堂(1SYOKU)およびCcaféを会場として、2日間にわたり実施するも初の試みだった。夏休み終了間際のこの時期に、どれくらいの高校生が足を運んでくれるものなのか、予想のつかない中で挙行となった。

幸い両日も天候に恵まれ、厳しい残暑の中、その結果は期待以上のものであったといえる。両キャンパス2日間の合計で4,649名(昨年比48名減)の来場者を迎えることができ、特に瀬戸キャンパス(NSC)来場者数は、昨年302名の2割増強である370名となり、過去最多を記録した。名古屋キャンパス(NNC)の朝9時半からの開会式には、両日ともG30教室がほぼ満席になる600名以上が参加。ドイツ渡航中だったマルクス学長からのビデオメッセージが大型スクリーンに映し



出されると、来場者はその歓迎メッセージを熱心に聞き入っていた。また、キャンパスツアーの人数が大幅に上昇し、両キャンパスで計950名の参加者を得た。特にNNCのツアー受付場所には、参加希望者の列が絶えることなく、同時に7グループがツアーを行なっている時間帯もあるほどであった。全力でツアーに当たってくれた学生スタッフの協力で、深く感謝したい。



### International Friendship

#### 百聞は一見に如かず 水谷 菜々子 (外国語学部スペイン・ラテンアメリカ学科4年)

みなさんはキューバといえれば何を思い浮かべるでしょうか。フィデル・カストロ、青い海、サルサ、野球……。私はカリブ海に位置するキューバのババナ大学に9か月間留学し、スペイン語、キューバ史やラテンアメリカ史の勉強をしました。実際のキューバでの生活は想像以上に意外な面が多くありました。キューバ人は明るく、見知らぬ人にも話しかけるような親しみやすい一面を持っています。特に外国人に高い関心を持っていて、私は1日に10回以上も「チーナ(中国人!)」と声をかけられました。彼らはたとえ小さなことでも自分の意見や知識を主張し、好奇心が旺盛です。その一方、生活するにあたりキューバ人と外国人は区別されていて、キューバ人は自国のホテルに入ることが禁止されています。アメリカの経済封鎖でモノは不足していて、配給があるため飢えることなくギリギリの生活を送り、ひたすら海外の生活を夢見る姿は少なからず衝撃を受けました。社会主義という政治体制から、人によっては非常に模範的な答えを返して、



言論の自由が制限されている印象を受けました。しかし、停電が続いても時間も待たされても、「最後にはなんかなる」と笑う姿勢は私にとって見習うべき部分でした。このようなキューバでの生活は、忙しい日本社会では忘れてしまいがちな生活のあり方を考える、よい機会であったと思います。働くことが目的ではなく人生を楽しむこと、困っている人に対しては助け合いの精神で接し、何よりも家族を大切にすることに改めて生き方を考えさせられました。経済・政治・文化の異なる国で生活をして、今までの自分があまりにも先進国中心の日本人による偏った考え方であることを実感し、新たな視点で物事を考えるようになりました。そして、キューバと比較して日本の悪い面が見えるときや、日本人であることを誇りに思うときに、よくも悪くも自分が日本人であることを実感しました。

留学は楽しいことばかりではありませんが、勉強など自分の目的以外にも、他国の人々と交流することで新しい世界や価値観を学ぶ機会が多くあります。留学や海外へ行くチャンスがあれば、ぜひ多くの人に踏み切ってほしいと思っています。

# 特集 World Plazaへ



2007年4月に英語教育センターが名古屋キャンパスに開設され、外国語のコミュニケーションスペースとして瀬戸キャンパスC棟にあるWorld Plaza(以下WP)が、秋学期より名古屋キャンパスD棟にもオープンします。



WPは、外国語をもっと学びたい、と考えている皆さんをサポートするスペースです。日本にいないながら、まるで海外留学のような体験ができる場所を提供しています!



## SCRABBLE

アルファベットのコマで単語を作り、ボードに並べて得点を競うゲーム。



気軽に参加してくださいね。



瀬戸キャンパスWPスケジュールの一例

<b>MONDAY</b>	<b>LIVE LISTENING</b>
先生や先輩と一緒にホットな話題について討論しよう	
<b>THURSDAY</b>	<b>MY WORLD, YOUR WORLD</b>
スペシャルゲストの面白い話を聞きに行こう	
<b>FRIDAY</b>	<b>INTERNATIONAL DAY</b>
留学生との交流で、世界と世界の言語を知ろう	

http://www.seto.nanzan-u.ac.jp/ps/nepas/index.html

## オープンキャンパスでも大盛況

8月25・26日に行われたオープンキャンパスでは、プレオープンのなか高校生も参加しました。スタッフも驚くほどの盛況ぶりを見せ、南山大学を希望する高校生らの外国語に対する関心の高さがうかがえました。

Ken Kobayashi (L)



オープンキャンパスでWPに参加してくれたみなさんぜひ南山大生になってまた利用してくださいね!



## 友達やスタッフと楽しく交流できるイベントが盛りだくさん

WPでは、英語プレゼンテーション準備の相談に乗ったり、気軽に外国語の練習ができるように話し相手になってくれるWPアシスタントが常駐しています。また、ゲストスピーカーを招いてのイベントも行っています。

Richard Miles (L)



外国語が苦手な人もぜひ足を運んでください。

## 外国語に浸れるスペース

WP内では、日本語厳禁。DVDなどのオーディオ類、ニュースや映画も吹き替えや日本語字幕は禁止。スタッフとの会話もすべてが外国語なので、教室を離れても学べる環境となっています。



Mauro Lo Dico (R)

英語以外の外国語を勉強したい方もどんどん活用してください。

## GROUP WORDS

一人がグループワードを言ったら、30秒以内にその言葉に関連する単語をできるだけ多く言うゲーム。



Yes.



Do you all have 7 tiles?

I hope you got some vowels.

「fishing」「traveling」「reading books」

「fruit」「apples」「bananas」「peaches」

...NO?

NO!

英語ゲームにチャレンジ



John Howrey (SLI)



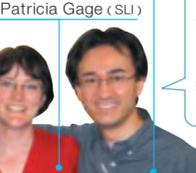
Andrew McNulty (L)

名古屋も企画していきます!



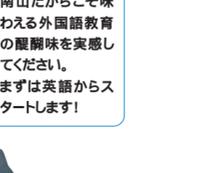
Mathew White (SLI)

南山だからこそ味わえる外国語教育の醍醐味を実感してください。まずは英語からスタートします!



Patricia Gage (SLI)

Yoshikazu Watanabe (センター長)



Yoshikazu Watanabe (センター長)

# 2006年度決算・2007年度予算

## 教育・研究環境整備と財政基盤の強化に向けて

2006年度は、施設拡充を中心とした年であった。名古屋キャンパスには、教室不足解消と学生サービスの充実を目指したB・C棟が完成した。食堂を増設するとともに、教務課、学生課の事務室を統合し、サービス向上を図った。加えて、山手通りから直接アクセスできるよう、山手通門とアプローチロードを整備し、通学の利便性を高めた。

一方、瀬戸キャンパスでは、開設時からの懸案であった体育施設充実の一環として、グラウンドが完成し、秋学期から体育の授業や課外活動での利用に供している。あわせて周辺施設を改修し、部室の

整備等、特にクラブ活動のための環境整備を行った。今後の課題としては、名古屋キャンパスの校舎建替等再開発を考える必要があるが、そのためには、財政基盤をより強固にし、再開発のための資金を確保していく必要がある。累積消費支出超過額の計画的解消も課題として残っているため、これをバランスポイントとして残していく必要がある。

本学では、「南山BULLETIN」において財政状況を公開し、透明性の確保に努めてきた。今回は、2006年度決算および2007年度予算について、財務諸表とともに説明させていただく。

### 2006年度決算について

第1表は、資金収支計算書であり、大学の1年間の活動における、すべての資金の流れを記録している。収入の部の前年度繰越支払資金決算額14,709,735千円と、支出の部の次年度繰越支払資金決算額17,401,452千円との差額が2,691,717千円となっており、これが2006年度の諸活動による資金の増加である。資金収支計算書は、借入金等の負債も収入として計上され、借入金等の返済による負債の減少も支出として計上されるため、繰越支払資金の増加と自己資金の増加はイコールではないが、本学の場合は、新規の資金借入を行っていないため、繰越支払資金の増加の大半は自己資金の増加に結びついている。

第2表は、消費収支計算書である。これは、資金収支計算書と異なり、収入は負債とならない収入(帰属収入)のみが計上される。ここから設備投資等に充当される基本金組入額を控除したものを消費収入とし、単年度の経費である消費支出と消費収入の均衡状態を示すものである。2006年度は、いくつかの特殊要因が重なり、2,255,977千円という消費収入超過となった。

要因の一つは、資産運用収入の増加である。特に資金運用が予測を大きく上回る好結果を残し、予算額を約550,000千円超過する決算となった。また、開設7年目を迎える瀬戸キャンパスでは、当初設置した各種機器備品の取替更新について、機種や運用方法の見直しを行った結果、安価に取替更新が実施可能となった。除却した備品の取得価格は、学校法人会計基準では基本金組入額から控除することとなっているため、基本金組入額が当初の想定を大きく下回ることとなった。結果として、消費収入(帰属収入・基本金組入額)

が大きく入り、収入超過に作用した。大学全体では、固定資産の除却が約670,000千円発生しており、これは2005年度を約500,000千円上回っている。なお、2006年度の収入超過額については、繰越消費支出超過額の解消に充当することとした。

第3表は、貸借対照表であり、2006年度末時点での本学の資産状況を表すとともに、2005年度末時点との対比をしている。2006年度は、前述のとおり名古屋キャンパスではB・C棟、山手通門とアプローチロード、瀬戸キャンパスではグラウンド等の取得があったため、有形固定資産の建物、構築物が大きく増加している。一方で、これらの取得資金であった2号基本金と、その他の固定資産のうち、2号基本金の引当資産である教室棟整備資金、グラウンド整備資金が減少した。しかし、これらの施設整備は、全額自己資金で行ったため、負債である借入金は増加していない。資金収支計算書の説明にもあるとおり、本学は新規借入を行っていないので、借入金は計画返済分が減少しているのみである。

また、貸借対照表は、資産総額とその取得源泉を示すものである。取得源泉には、負債、基本金、消費収支差額の3種類があるが、このうち基本金と消費収支差額が自己資金となる。財務状況を判断するために、資産総額に占める自己資金の割合(自己資金比率)を見ることが多いが、本学の場合、2006年度末の自己資金比率が90.0%となっており、数値上問題がない上に、2005年度末の88.9%からも向上している。いまだ繰越消費支出超過額は解消されていないが、資産状況は概ね健全であると言える。

### 2007年度予算について

2007年度は、名古屋キャンパス既存施設の修繕計画を重点的に実施すべく予算編成を行った。また、校舎整備、キャンパス再開発を念頭に、資金的な裏付けのために2号基本金の組入を200,000千円増額した。修繕に係る主な事業は以下のとおりである。

1. 名古屋キャンパス校舎防水工事  
これまで簡易な応急処置で対応してきた図書館、第2食堂棟等について、本格的な防水工事を実施する。
2. 名古屋キャンパス校舎空調整備工事  
図書館、G教室棟などで空調機の故障が頻発しているため、空調機の取替工事を実施する。
3. 名古屋キャンパス図書館エレベーター更新工事  
設置後20年以上が経過しており、一部故障も発生していることから、安全確保のために更新工事を実施する。

本学は、私立学校法の改正により財務状況の公開が義務付けられる以前から、積極的に財務状況を広く公開し、学校運営の透明性を高めることと、財務状況を改善させるための努力を継続して行っ

てきている。この姿勢は今後も変わることなく、ご理解、ご支援を賜りたい。(大学事務部長 会沢 俊昭)

「南山大学概要2007」に掲載の貸借対照表に誤りがありました。正しくは右の第3表貸借対照表をご覧ください。

第1表 2006年度 資金収支計算書 (2006年4月1日から2007年3月31日まで) (単位:千円)

収入の部		支出の部	
科目	予算額	科目	決算額
学生納付金収入 (授業料)	10,206,580	人件費支出 (教員人件費)	6,224,313
(人学金)	(7,114,539)	(職員人件費)	(4,388,770)
(実験実習料)	(1,102,460)	(退職金)	(1,648,243)
(教育実習料)	(60,157)	(189,398)	(189,398)
(施設設備費)	(8,877)	教育研究経費支出	2,920,968
(手数料収入)	(1,920,547)	管理経費支出	815,215
(入学検定料)	738,428	借入金等利息支出	8,123
(その他の手数料)	(641,887)	借入金等返済支出	111,100
寄付金収入	(96,541)	施設関係支出	1,505,198
補助金収入	237,692	設備関係支出	362,643
資産運用収入	1,220,273	資産運用支出	300,000
資産売却収入	408,301	その他の支出	1,800,256
事業収入	75	法人本部費配賦額	379,537
雑収入	186,547	資金支出調整勘定	172,623
前受金収入	138,110	次年度繰越支払資金	15,921,730
その他の収入	2,259,161		17,401,452
資金収入調整勘定	2,660,428		
前年度繰越支払資金	2,588,870		
	14,709,735		
収入の部合計	30,176,460	支出の部合計	31,001,159

(注)予算額は修正予算額。

第2表 2006年度 消費収支計算書 (2006年4月1日から2007年3月31日まで) (単位:千円)

消費収入の部		消費支出の部	
科目	予算額	科目	決算額
学生納付金	10,206,580	人件費	6,070,502
手数料	738,428	教育研究経費	3,754,774
寄付金	238,692	(内、減価償却額)	(833,806)
補助金	1,220,273	管理経費	926,659
資産運用収入	408,301	(内、減価償却額)	(150,037)
資産売却差額	1	借入金等利息	8,123
事業収入	186,547	資産処分差額	15,452
雑収入	158,533	徴収不能引当金繰入額	0
帰属収入合計	13,157,355	法人本部費配賦額	379,537
基本金組入額合計	996,979		360,643
消費収入の部合計	12,160,376	消費支出の部合計	11,193,640
		当年要消費収入(支出)超過額	966,736
		前年度繰越消費収入(支出)超過額	5,984,841
		基本金取崩額	2,816
		翌年度繰越消費収入(支出)超過額	5,015,289
			3,771,060

(注)予算額は修正予算額。

第3表 貸借対照表 (2007年3月31日現在)

科目	2006年度末	2005年度末	増減	科目	2006年度末	2005年度末	増減
<b>資産の部</b>				<b>負債の部</b>			
固定資産	24,323,506	24,007,348	316,158	固定負債	1,372,210	1,534,215	162,005
有形固定資産	23,355,669	22,524,587	831,082	長期借入金	33,330	66,660	33,330
土地	1,317,011	1,317,011	0	退職給付引当金	1,132,459	1,268,296	135,837
建物	14,793,249	14,106,383	686,866	長期預り金	206,421	199,259	7,162
構築物	920,734	525,370	395,364	流動負債	2,808,200	2,772,580	35,620
教育研究用機器備品	737,902	700,380	37,522	返済期限が1年以内の長期借入金	33,330	111,100	77,770
その他の機器備品	31,794	44,609	12,815	未払金	206,007	120,407	85,600
図書	5,445,065	5,331,136	113,929	前受金	2,399,186	2,364,722	34,464
車両	109,914	133,948	24,034	預り金	169,877	176,351	6,674
建設仮勘定	0	365,750	365,750	負債の部合計	4,180,410	4,306,795	126,385
その他の固定資産	967,837	1,482,761	514,924	<b>基本金の部</b>			
電話加入権	5,162	5,162	0	第1号基本金	35,085,640	33,750,969	1,334,671
施設利用権	16,101	17,279	1,178	第2号基本金	332,669	834,390	501,721
長期貸付金	473,904	485,930	12,026	第3号基本金	5,379,209	5,324,777	54,432
退職給付引当特定資産	140,000	140,000	0	第4号基本金	753,000	736,100	16,900
南山大学教室棟整備資金	0	234,390	234,390	基本金の部合計	41,550,518	40,646,236	904,282
南山大学グラウンド整備計画資金	0	300,000	300,000	<b>消費収支差額の部</b>			
南山大学名古屋C施設整備資金	232,670	200,000	32,670	翌年度繰越消費収入(支出)超過額	3,771,060	5,984,841	2,213,781
南山大学瀬戸C施設整備資金	100,000	100,000	0	消費収支差額の部合計	3,771,060	5,984,841	2,213,781
流動資産	17,636,362	14,960,842	2,675,520				
現金預金	17,401,452	14,709,735	2,691,717				
未収入金	169,813	224,461	54,648				
短期貸付金	0	0	0				
立替金	2	2	0				
前払金	61,173	22,081	39,092				
貯蔵品	3,922	4,563	641				
資産の部合計	41,959,868	38,968,190	2,991,678	<b>負債の部、基本金の部、消費収支差額の部合計</b>	41,959,868	38,968,190	2,991,678

(注記)  
1 重要な会計方針 (1)引当金の計上基準 徴収不能引当金・長期貸付金の徴収不能に備えるため、徴収不能実績率に基づき、徴収不能見込額を計上している。退職給付引当金・退職金の支給に備えるため、将来支給総額5,940,300千円の40%を基礎として、私立大学退職金引当に対する控除の累積額と交付金の累積額との差額を引当額とした金額を計上している。(2)その他の重要な会計方針 所有権移転外ファイナンス・リース取引の処理方法…リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理による。2 担保に供されている資産の種類及び額は、次のとおりである。土地 134,800円 3 翌会計年度以後の会計年度において基本金の組入れを行なうこととなる資産 27,780,000円 4 その他財政および経営の状況を正確に判断するために必要な事項 (1)滞り残債 右記について債務保証を行なっている。南山大学学生(卒業生)の奨学金銀行ローン 336,698,258円 (2)所有権移転外ファイナンス・リース取引 通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行なっている所有権移転外ファイナンス・リースは次のとおりである。リース資産の種類 教育研究用機器備品 リース料総額 46,917,990円 未経過リース料期末残高 34,451,550円

第4表 財務比率

比率	計算式	南山大学		他大学		評価
		2005年度	2006年度	2005年度	2006年度	
人件費比率	人件費/帰属収入	46.2%	46.8%	43.0%	50.8%	
人件費依存率	人件費/学生納入金	58.0%	60.2%	58.5%	61.4%	
教育研究経費比率	教育研究経費/帰属収入	28.4%	26.4%	24.9%	28.8%	
管理経費比率	管理経費/帰属収入	7.2%	7.0%	6.7%	7.5%	
借入金等利息比率	借入金等利息/帰属収入	0.2%	0.1%	0.1%	0.3%	
学生生徒等納付金比率	学生納入金/帰属収入	79.6%	77.7%	73.5%	82.6%	
補助金比率	補助金/帰属収入	8.5%	9.2%	9.1%	8.2%	
基本金組入率	基本金組入額/帰属収入	7.9%	5.6%	6.5%	10.4%	
減価償却費比率	減価償却額/消費支出	11.7%	10.3%	9.1%	10.9%	-

帰属収入に対する比率

比率	南山大学(2006年度)	他大学文他複数学部(2005年度)
人件費	43.0%	50.8%
教育研究経費	24.9%	28.8%
管理経費	6.7%	7.5%
その他の消費支出額	2.8%	1.8%
基本金組入額+消費収支差額	22.7%	11.2%

貸借対照表関連

比率	計算式	南山大学		他大学		評価
		2005年度	2006年度	2005年度	2006年度	
自己資金構成比率	自己資金/総資金	88.9%	90.0%	86.4%		
消費収支差額構成比率	消費収支差額/総資金	15.3%	9.0%	2.6%		
流動比率( )	流動資産/流動負債	347.5%	343.1%	253.0%		
減価償却比率	減価償却累計額/減価償却資産取得価額	43.1%	42.1%			